

船橋障害者自立生活センターニュース

発行所 : 〒260 千葉市中央区都町2-16-16 (杉井方)

発行人 : 宮尾 修

1993年5月20日 第3号

編集人 : 渡辺由美子

93年度総会近づく

介助講習会もあわせて開催！！

昨年九月の正式発足から早くも半年が過ぎ、船橋障害者自立生活センターでは現在、事務所探しを始めとして、活動の基礎を固めるべく日夜奮闘しています。そして、下記の要領で、二回目の総会を開きます。総会では、運営委員の選出や事業計画、それに予算など、今年度の活動の基本的な事柄について話し合います。特に今回は、活動を軌道に乗せるための方策を含めて、皆さんのいろいろなご意見をお聞きしたいと思います。

日時・・・6月6日(日)の午後1時から。

場所・・・「船橋市勤労市民センター」

また、後半は「介助講習会」を行います。これは、センターのメンバーである障害者が自らモデルとなって、車イスの押し方や車イスからベッドなどへの移動や着替えの方法など、介助の基本的な面について知っていただくことを目的としたものです。

是非、お誘い合わせのうえ多くの方のご参加をお待ちしています。

お問い合わせ・・・センター仮事務局

Tel 043-231-6402

宮尾さんが新しい代表に

会員の方には既に「速報」としてお知らせしました通り、かねてから東京のいくつかの自立生活センターに研修のために通っていた代表の山本明さんが、もうしばらく研修を続けることになり、今後の運営体制などについて4月の運営委員会で話し合った結果、宮尾修さんが山本さんに代わって代表に就任されることとなりました。

正式には総会後の運営委員会で決定の運びですが、新年度の事業の遂行をスムーズに進めるための措置として、4月からその職務を引き継ぐことで意見がまとまりました。

最重要課題のひとつとなっている事務所の確保を始めとして、克服すべき事柄は多いのですが、新リーダーのもとで一同決意を新たに取り組んでいく所存ですので、会員の皆さんのより一層のご支援とご協力をお願い致します。

(文責：杉井)

活動日誌

12 / 13 運営委員会

12 / 16 JIL (全国自立生活センター協議会)のILP
(自立生活プログラム)小委員会(立川中央公民館)参加

12 / 19 交通行動事務局会議(新宿区障害者福祉センター)参加

12 / 29 JILのILP小委員会より当センターの「自立生活プログラム」への講師派遣の予定表が届き、正式なパンフレット作成に取り掛かる

1 / 15 運営委員会

1 / 19 ~ 3 / 23 第1期自立生活プログラム

第一回「自己紹介、ILPとは?、目標設定」、第二回「自立生活ってなんだろう」講師:村山実さん(下志津両院)、第三回「フィールドトリップ(1)近くを散策しよう」、第四回「介助者との関係(1)」講師:野口俊彦さん(CIL立川)、第五回「介助者との関係(2)」講師:野口俊彦さん、第六回「金銭感覚を身につける」講師:堤愛子さん(町田ヒューマンネットワーク)、第七回「遠くへ行こう - 計画作り -」、第八回「フィールドトリップ(2)遠くへ行こう」東京・江戸川区の自立生活センター「コミュニティ・チャレンジ・メイト」を見学、第九回「健康管理」講師:関根善一さん(町田ヒューマンネットワーク)、第十回「まとめと反省」

2 / 14 運営委員会

2 / 26, 27 JIL 所長セミナー(都障害者福祉センター)

3 / 20 「自立生活センターK2」のメンバーと県への要望書提出について打合せ

3 / 30 今後の活動と運営体制について、JIL事務局の斎藤明子さんを交えて話し合い(勤労市民センター)

自立生活プログラムを受講しての感想文

山崎 真弓

私は4年前に親元を離れ、友人にボランティアとして介助を頼みながら、地域（柏市）でアパートを借りて生活しています。ボランティアのコーディネートを自分自身でやり、時には養護学校時代の友人を預かり、彼女の「自由になりたい、親から自立したい」という気持ちの手助けをしています。そういう体験を積みながら今回の講習を受けたわけです。この講習会は障害者自身の一人一人のつまずきをつまずきときずき、それが何が原因なのか又それをどうやって乗り越えたかを話し合う場だと受け留めました。その中で私が強く感じたことを書き留めてみます。

外出については、参加者全員が街に出る意欲を持ち、具体的に行動していました。私は外出する時は介護者についてもらい手押しの車椅子を使用して外出しますが、それは介護者が介護しやすいという事を考えれば車椅子を使用するという事は当然という私の意識からでしたが、船橋のメンバーはそうではなく大変重い電動の車椅子で駅に出て電車に乗るのです。そのことは私にとっては自分の意識を変えることになりました。電動車椅子の役目というのは介護者を必要としない為のものばかりでなく、社会の構造（駅の構内）をも変えていく役割がある事に気づいたのです。そしてそのことは、研修の日程の中で実際に電動車椅子で東京に行ってみようという事になった時具体的に強く感じる出来事をまの当たりに見たのです。駅員さんの介助でエスカレーターを利用した際の事、実際エスカレーターでの移動は大変危険を伴うもので、駅員さん達が「このエスカレーターではだめだ」と口に出して云っているのを聞いた時「これなんだな」と思ったのです。実際に社会の人々が証明役になって街を変えて行く。駅を変えていく……。大事な事は勇気を出して電動車椅子で街に出ること。これが私が船橋のメンバーに気付かされた事、柏に往む私の意識の改革、柏駅を電動車椅子が行き交うところになりたい。

あともう一つ、書き加えたい事は、講師の先生が大変自身に満ちており魅力的であった事です。もっと書きたい事がありますが、もう疲れたので、この辺で……。

会費納入とカンパのお願い

早いもので、新年度に入ってもう一月半が過ぎました。

私たちも心を新たにして活動を続けています。現在もっとも力を入れているのが、活動の拠点となる事務所を確保することです。

ただ、自明のことではありますが、事務所を持ち、活動を継続していくためには相当の財源が必要となります。もちろん、学習会の報告書の販売など、事業収入の拡大にも力を入れますが、行政などによる助成制度があまり期待できない現状では、会員の皆様からの会費が否応無しに大きなウェイトを占めることとなります。

というわけで、会員の皆様にはお願いばかりで恐縮ですが、新年度分の会費をお早めにご納入くださいますようお願い致します。

なお、カンパも随時お受けしておりますので、幅広い皆様のご支援をよろしくお願い致します。

郵便振替口座「東京4 - 609088」

船橋障害者自立生活センター

船橋障害者自立生活センター報告書完成

船橋障害者自立生活センターでは、1991年9月から92年1月にかけて、日本でも先駆的な自立生活センター運動を展開してきて、様々な知識や実体験を持つリーダー達を東京から講師としてお招きし、自立生活に関する『学習会』を行ないました。その内容のまとめと『船橋自立生活センター』とはどういう組織なのか？ 何を目指して活動している団体なのか？ が、一目瞭然に解る報告書をこの度発行致しました。

つきましては、自立生活に少しでも関心を持つ障害者は勿論、福祉に対して何となく漠然とは興味を持っているけれども、何をどう手伝って良いのか解らないという健常者、そしてこれから目前に迫っている高齢化社会の問題とも絡み、ぜひ皆さんにこの一冊を読んでいただき、ある特定の間人だけが抱える問題と捕えず、自分や家族が日常生活に困った時どう対処していくか？ そういう時に何が必要なのか考えていただくきっかけにしたいと思ひます。

全ての人々に ぜひご購入いただきたいこの一冊 販売価格 1,000円

この本に問するお問合せは

〒260 千葉市中央区都町2-16-16

Tel 043-231-6402

事務局長 杉井 和男 迄

直接購入されたい場合は下記の郵便振替口座へ報告書代金とお書き添えのうえお振込みください。代金を確認でき次第、折り返し本をお送り致します。

郵便振替口座番号 東京 4-609088



編集後記

機関紙の発行が遅れ、たいへん申し訳ありません。
第2回総会后、本格的に介助者派遣にむけ努力して
いきますので、今後とも、ご支援、ご協力のほど
よろしく願いいたします。 (渡辺)

介助スタッフ大募集

◆◆◆ 私たちの生活を支えてください！ ◆◆◆

私たち「船橋障害者自立生活センター」は、障害があっても地域であたりまえに生きることを目指して活動しているグループです。でも、そのためには私たちの日常の生活のなかで介助をしてくださる方々が必要です。

そこで、現在当センターでは介助スタッフとして私たちの生活を支えてくださる方々を広く募集しています。どうかあなたのお力を少しでも私たちに貸してください。よろしくをお願いします。

.....

主な介助内容

- 身辺介助（食事、着替え、排泄、入浴など）
- 家事援助（炊事、洗濯、掃除、買物など）
- 移動介助（外出の付添い、車椅子への乗降など）
- 仕事上の介助（代筆、口述筆記、朗読、資料整理など）
- その他

介 助 料

原則として1時間あたり400円としますが、介助の内容や障害者の生活状況によって変わることがあります。

介助は特別な資格や経験を必要とするものではありませんし、当センターでは介助講習会を定期的を開催しますので、どなたでも安心して参加していただけます。

お問合せ：船橋障害者自立生活センター仮事務局

Tel 043 - 231 - 6402